



今回の「山盛り茶話ん」は
1932年(昭和7年)に
流行したものや、昔の玩具
の歴史について書いてみました!

おもちの 歴史

1927~1943

1927年(昭和2)

日月ボール(けん玉)、野球遊び、
ダイヤモンドゲームなど流行。
青い眼の人形、200体がアメリカから
贈られ、「人形大使」として全国各地
の幼稚園、小学校などで歓迎せ
られる。国産セルロイド玩具、生産額
で世界第一位となる。

1930年(昭和5)

紙芝居「黄金バット」人気

1932年(昭和7)

マンゴ、かまた、双六など「のらくろ」
玩具流行
ブリキの宙返り飛行機の大ヒット。
金属玩具大量生産のきっかけとなる。

1933年(昭和8)

ヨーヨー、全国的に大流行
ゴム線とび壘人におこなわれる。

1938年(昭和13)

国内向けの金属(ブリキ)玩具製造
禁止。

1943年(昭和18)

「愛国百人一首」「愛国いろはかまた」
など登場。



「黄金バット」は当時人気
だった紙芝居「黒バット」の
最終回で無敵だった怪盗
「黒バット」を打ち倒すヒーローとして
誕生した。

昭和後期に私が
映画、テレビアニメ化
された。

のらくろ

- 大日本雄弁会講談社(現・講談社)
の雑誌「少年倶楽部」にて1931年から
連載された漫画
1932年のらくろお面や玩具、筆箱など
子供向け商品がブームとなる。

東京音頭

- もともとは「丸の内音頭」という曲名で
1932年に制作され日比谷公園での盆
踊り大会で披露された。
1933年、当時の東京市民すべてがうたえ
るように改題、改詞され「小唄 勝太
郎」と、「三島一声」の歌唱でレコード化され
東京だけでなく全国的に大ヒットした。

作詞・西条八十、作曲・中山晋平

ハッ、踊り踊るなら

チョイ東京音頭 ヨイヨイ

花の都の 花の都の真中で

ヤッ ヤットナソル ヨイヨイヨイ

ヤットナソル ヨイヨイヨイ

来月の「山盛り茶話ん」も
よろしくお願ひします☆

東北三大祭り!!!

1 弘前ねぶた祭り・青森ねぶた祭り (8/1~8/7・8/2~8/7)

「ねぶた」と「ねぶた」の違い⇒弘前は1日開始なのに対し青森は2日開始!!

弘前は「出陣」で青森は「凱旋」であるため、弘前が先なのです。

形状としては弘前は扇型が主体で、青森は人形の灯籠が主体です。

2 秋田竿燈祭り (8/3~8/6)

竿燈全体を稲穂に連なる提灯を米俵に見立て、額や腰、肩などに乗せて豊作を祈る。大若は提灯が46個で重さが50kgあるそうです。

3 仙台七夕祭り (8/6~8/8)

一番町やアケド街、仙台駅周辺、商店街や家庭など合計3000本と言われる7種類の七夕の飾り付けがなされています

- ①短冊 ②糸衣 ③折鶴 ④巾着 ⑤投糸網 ⑥くずかご ⑦吹き流し

編集後記

今回は遊び道具やお祭りについて載せました!!

今とは全然違い、初めて開いたり見たりするのが多かったです☆

そして夏といえばお祭りですね!!

有名な東北三大祭り、今年はまだおあつちいでしたが、いつか一度は行ってみたいです☺!!

橋口・野田